



クアラルンプール日本人学校だより
JSKL 通信

たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性

クアラルンプール日本人学校

令和6年度 6月号 5月 31日発行

学校長 瀬戸 保彦

絆 ～全力!協力!努力!で世界一の思い出を～

今週の土、日曜日、本校の運動会を開催します。

小学部は、8日(土)、中学部は9日(日)、ともに午前中に行う予定です。暑い毎日が続いていますが、小学部も中学部も連日、練習に励んでいるところです。

子どもたちが掲げた運動会のテーマの中に、「絆 ～全力!協力!努力!」という言葉が使われています。日本人学校では、数年で転校する子どももおり、入学から卒業までを共に生活する経験が少なく、出会いと別れを繰り返すことが多く見られます。だからこそ仲間と絆を深められる学校行事は大切な学習なのです。

私たち教員も同様に数年で交代していきます。縁あって、この学校で出会った子どもたち。どのような状況に置かれても、自分のベストを尽くせる粘り強い精神力の大切さを理解し、友達と協力しながらたくましく生きる力を身に付けてほしいと思います。団体競技のなかで自分のために友達のために努力したり工夫したりしてほしい。そのような一人一人の思いや行動が運動会を盛り上げ、みんなの力で感動を創り出していくのでしょし、世界一の思い出になるのだと考えています。

子どもたちが考え、創り上げたテーマを胸に、運動会を全小・中学生、全教職員の力と保護者や関係機関の皆様のご協力をいただきながら成功裏に進めたいと考えております。

多くの保護者の方にご来校いただき、ご声援をいただきたいと存じます。



いじめの防止、早期対応をめざして

いじめは、児童生徒の心身の健全な成長に大きな影響を及ぼし、命にもかかわる重大な問題です。人として決して許されないものです。

本校では、「いじめ防止対策基本方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を進めています。学校は集団生活ですから、人間関係による様々な問題が発生することがあります。それがいじめにつながらないようにするため、お互いを認め合い、対話による学び合いができる温かい人間関係を築けるように取り組んでいます。

例えば、各学級では、お互いを知り合い、認め合う活動を仕組んだり、日常の問題を自分事として捉え、話し合い活動を通してよりよい生活ができたりするよう進めています。

学校では、未然防止や早期発見・対応をするため、アンケートを実施するとともに、相談期間を設け、児童生徒の気持ちを受け止めるよう組織的な対応を心がけています。ご家庭でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。

日本人墓地清掃活動

5月25日(土)、本年度1回目の墓地清掃を行いました。参加した子どもたちは、万代さんのお話を聞き、マレーシアの地で亡くなられた先人の苦勞に思いを巡らせました。その後、手分けして清掃を行い、花を手向けして終了しました。参加、ご協力くださった皆様に心からお礼を申し上げます。

